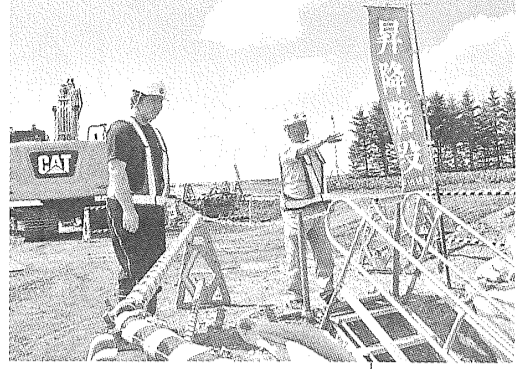


建設業の役割など伝える

平田建設 土幌高生受入



山森さん(左)が建設業について学んだ

と、帯広支店の土質試験室を見学。2、3日目は同社が施工する帯広開建発注「帯広尾道大樹町振別北道路改良」「芽室川西地区上清川第2幹線用水路上

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は6月26日から3日間、土幌高校のインターシップに協力したII写真II。農業農村整備や道路改良、土質試験の様子を見学させるなど、地域の安全・安心を支える建設業の役割や魅力を伝えた。

同社では毎年インターシップに協力。今回は26日から3日間、土幌高2年生の山森悠太さんを受け入れた。

初日は、建設業の役割や同社について説明したあ

方法や安全対策といった取組内容を紹介するとともに、ドローンの操縦体験を行った。

また、若手職員との交流

を実施。山森さんからの建設業の仕事のやりがいや就職した理由に関する質問に対して若手職員は「二日一日工事が進んでだんだん完

成していく姿を見るのが楽しい」「自分の携わった道路が完成するなど、達成感を感じたくてこの仕事を選んだ」などと回答した。

山森さんは、3日間のインターシップを通して建設業の重要性を学んだことや、ICTを活用している現状を知ることができた

とに触れ「将来に向けて建設業に興味を持った」と話した。

「芽室川西地区上清川第2幹線用水路上流工区」では現場事務所で担当者が国営かんがい排水事業の目的や概要、同工事の施工個所や管水路工事の進め方について、写真を用いて丁寧に説明した。

現場では、マシンガイダンスを活用したICT施工、墜落災害防止に向けた立ち入り禁止措置など施工